

鳴門市の配水池



市内には、家庭や工場などにお配りする水道水を貯めておく配水池が18カ所あります。また、水道水を配水池に送るためのポンプ室は市内に13カ所あり、水道事業課では、これらの施設を24時間体制で管理しています。

配水池の役割

配水池は浄水場で作られた水道水を一度貯めておく施設で、浄水場で作られる水量と、時間ごとに変わる家庭などで使われる水量を調整する役割があります。また、停電や災害などの異常時は、水を確保する役割もあります。配水池から家庭へ自然流下で水道水を供給するため、配水池は山の上など高い所に設置しています。このため、浄水場から配水池まではポンプで水道水を送っています。

市内の配水池を紹介します

? 一番大きい配水池は?

中央配水池(昭和50年完成)で容量は10,000m³です。



? 一番古い配水池は?

平草配水池(容量1,000m³)で昭和37年に完成しました。



いろいろな形をした配水池があります。



▲妙見山配水池(容量3,000m³)
昭和42年に完成しました。



▲大谷配水池(容量4,000m³)
平成2年に完成しました。



▲桧配水池(容量300m³)
平成7年に完成しました。

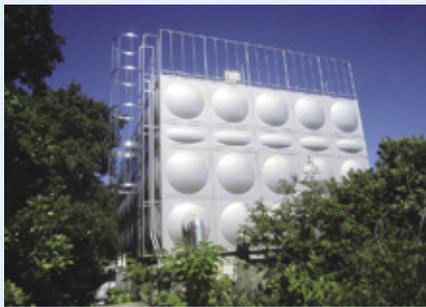
? 一番小さい配水池は?

鳴門公園配水池(昭和38年完成)などで容量は50m³です。



? 一番新しい配水池は?

島田島高区配水池(容量105m³)で平成11年に更新しました。



ポンプ室の役割

配水池が高い所にあったり、水道管の距離が長いと水圧が低下するため、浄水場から送った水道水が配水池に届きません。

このため、ポンプで加圧して配水池まで水を送ります。



木津中継ポンプ場

中央、妙見山、中山の各配水池に水を送るポンプ設備です。



鳴門公園配水池に水を送るポンプ設備です。



鳴門公園ポンプ室

※次回は、「水道管の工事」について詳しくご紹介します。

■問い合わせ先 市企業局水道事業課 ☎685・3330
Eメール suidojigyo@city.naruto.lg.jp